

一般廃棄物最終処分場が完成



一般廃棄物最終処分場（自倉埋立場）が自倉字入道谷地区内に完成し、三月三十日に竣工式が行われました。

この自倉埋立場は、敷地面積が三〇、〇〇〇㎡で、埋立処分場や浸出水処理施設ならびに埋立てごみの容量を少なくするための前処理施設を含み、総事業費約十億円をかけ建設されました。この事業は国庫補助金を受けるとともに、厚生年金・国民年金積立金運営融資などを受けています。

工事は、平成九年度から十年度の継続事業で行われ、四月から不燃物等の埋立が開始されます。埋立て年数は十五年間の計画です。

この施設は、町および委託管理業者による力案の体制により、環境にやさしく、地域のみならず安心できる施設として運営しますが、さらに安全性を高めていくためには、町民のみならずごみの持ち出しっかり実施してもらい必要があります。容器などについていた汚れはよく

落とし、分別してごみを出してください。また、指定されていない危険物は出さないことと、スプレー缶などは、必ずガス抜きを行ってください。

主要施設の概要

①埋立処分地施設

焼却などがされた不燃ごみを埋立てる施設で、汚水の流出防止策として重形式コンクリート環壁や二重のゴムシートが敷かれています。



②浸出水処理施設

埋立場から出る汚れた水をきれいにする施設で、水質の保全のための高度処理として、製薬薬処理、砂ろ過、活性炭処理等が設置されています。



③前処理施設

町内で収集された不燃ごみをおおむね十五センチ以下に焼却・減容化するための施設で、二輪せん断破砕機が設置されています。

